

# Kitazawa Seminar

北澤安紀研究会（国際私法）

## ・何を扱っているの？

国際私法という分野です！主に「法の適用に関する通則法」を扱っています！日吉では扱わない分野なので知らない方も多いかと思います。簡単に言えば、法律の異なる国や地域の間で生じている私人間の法律関係を規律することを目的とする法分野です。たとえば、フランス人と日本人が婚姻をするとき、日本の会社がニューヨーク州の会社に損害賠償請求をするとき、そこに適用されるのはどの国・地域の法律なのでしょうか。北澤ゼミではこのような渉外的事案において起こる様々な問題を扱っています。また、この分野を学んでいくうちに、他国の民法にも触れることができます。さらに、司法試験の選択科目の一つでもあります。スタートラインはみな一緒なので、前提知識はもちろん問いません！

## ・ゼミ員はどんな感じ？



北澤教授と20期のゼミ員

20期（現3年生）は18人（男8:女10）、19期（現4年生）は16人（男10:女6）、合計34人のゼミ員がいます！毎年15人程度のゼミ員を募集し、男女比はここ数年の平均で、大体1：1です。ゼミ生には、帰国子女、体育会に所属の人、兼サーしている人、勉強ガチ勢など様々な人がいます。民間志望、法曹志望、その他国家資格受験者等がバランスよくいます。

## ・教授はどんな人？

北澤安紀教授は慶應義塾大学、同法科大学院で国際私法を専門として教鞭を執っていらっしゃいます。

学部時代は池田真朗教授のゼミに所属し、民法を学ばれていました。卒業後はフランスのパリ第一大学への留学も経験されています。また、法制審議会のメンバーとして、ゼミで主に扱う「法例」（現「法の適用に関する通則法」）の改正にもご尽力されています。

一方で北澤先生は法学界において知らない者はいない美貌の持ち主。無類のワイン好きでもあり、JSA 認定ワイン・エキスパートの資格も持っています。

そんな北澤先生ですが、ゼミ生個人の話や相談を親身に聞いてくださるなど、とてもゼミを大切にしてくださいます。1学年15人程度という規模のため、先生とゼミ生との距離がとても近いゼミです！



写真右。池田真朗教授と共に

・どんな雰囲気？

サブゼミ時には誕生日の同期をお祝いします！

北澤ゼミは、男女問わずとにかく仲がいいことが特徴です！ゼミ活動（勉強）に真剣に取り組む一方で、飲み会(任意参加)、ソフトボールなどのイベントへの参加率も高く、ゼミに積極的にかかわろうとする人が多いです。



・普段の活動頻度は？

ゼミ活動の中心となる本ゼミは毎週木曜日の3,4限に行っています。本ゼミは事例問題をもとに2つのグループに分かれた上で討論をし、適宜先生がコメントをするという形で進行します。また、その準備として毎週1コマサブゼミを開き、その週の事例や論点の確認などを行います。いずれもその週のレポーターが、資料などを集めた上でレジュメを作成し、その報告に基づいて進めます。

確かに自分がレポーターの週は準備が大変ですが、レポーターは原則として半期に1度です。また、レポーターは2人1組で行うため、協力すればなんとかなります。そのため、特にエグくありません。

そして、月に一度4000字程度のレポート課題がでます。その週のゼミの設例について調べ、判例・学説を紹介し、私見を述べたうえで、問題を解くという形です。これは、サブゼミの中で予習をするためそこまで大変ではありません。

ゼミが三田生活の中心になるという人が多いと思いますが、その中でもサークル等と両立できる適度な忙しさだと思います！

・イベントは？

ソフトボール大会などのスポーツ大会に参加したり、色々なイベントを企画したりしています！また月に1回程度、飲み会(任意参加)を開いています。おおまかな年間スケジュールは以下の通りです。

2月新3年生顔合わせ

4月ゼミオリエンテーション

6月卒論企画提出(4年生) / ソフトボール大会

9月夏合宿

11月共同論文提出(3年生) / 北澤先生生誕祭

ソフトボール大会

12月OB・OG会/クリスマスパーティー

1月卒論提出(4年生)



・連絡先

・HP：北澤安紀研究会 (<http://kitazawa-seminar-keio.weebly.com>)

・Twitter：北澤安紀研究会入ゼミ2018 (@kitazawa\_2018)

・メール：[kitazawa.seminar21st@gmail.com](mailto:kitazawa.seminar21st@gmail.com)